

志賀原子力発電所 1 号機 原子炉建屋地下 2 階における水の漏えいについて

本日、北陸電力(株)から、志賀原子力発電所 1 号機において、原子炉格納容器内の排水ポンプの試運転を行っていたところ、原子炉建屋地下 2 階にある排水受けから水の漏えいがあった旨、連絡があった。(連絡基準 に該当)

- ・排水受けがある部屋は、堰構造の部屋であり、外部への漏えいはない。
- ・漏れた量は、約 17.6 リットル
- ・放射性物質の量は、約 15 万ベクレル

国への報告基準 : 堰の外部へ漏れた量が 3,700,000 ベクレル以上

県への連絡基準 : 堰の内外を問わず 3,700 ベクレル以上

原因は、試運転中に全閉にすべきバルブがわずかに開いていたため、開かれていた排水ラインの水受けから水が飛散したものの。

県及び志賀町では、午後 5 時から立入調査を実施している。

参考北陸電力 H P) <http://www.rikuden.co.jp/press/attach/08053005.pdf>

平成 20 年 5 月 30 日

原子力安全対策室

(直通) 076(225)1465

(県庁内線) 4 2 3 4